

総務

市民活動プラザ等の移転に関する条例・予算(3億5886万円)について

〔質問〕 移転先である新商工ビル(仮称)の駐車場は他団体も利用するが、ピーク時を含めた利用見込みは。〔答弁〕 各団体の平常時の利用状況の調査で、約50台と積算している。ピーク時の正確な把握はしていない。

文教福祉

一般会計補正予算中、生活困窮者自立促進支援事業について

〔質問〕 自立支援相談の窓口はどこに置くのか。〔答弁〕 相談窓口は、今年度は委託先のNPOに置くこととし、来年度は市役所にも窓口を設置することも検討している。〔質問〕 相談者は市役所の窓口に来ることが多いと思

〔意見〕 駐車場の想定が甘い。駐車場不足等で人が来なくなれば、本来の目的が達成できないので、しっかりと対応してもらいたい。

〔質問〕 市民活動プラザ等の移転後、イスクエアビルにコールセンターを誘致する話があるが、新商工ビルへの誘致は検討したのか。〔答弁〕 誘致先として当初からイスクエアビルを考えていたわけではない。新商

常任委員会(決算以外の議案審査)

工ビルへの移転部署を「参加と協働を推進する部署」に決定した結果、跡地活用策の検討が必要となった。新商工ビルについては、市民活動機能を配置すれば、年間約7万人の集客が見込め、企業と市民活動団体との連携・協力という相乗効果も見込める。コールセンターの誘致も検討はしたが、施設への出入りが従業員に限定されることやエレベー

ターの位置の問題等があり、それらを総合的に判断した。〔意見〕 単なる移転ではなく、参加と協働を推進する部署の新設等、重要施策の一環であることを市民に明確に説明すべきである。〔反対意見〕 ①新商工ビルの床取得は、当初市役所本庁舎の執務スペース不足解消が目的だったが、その後庁舎増築で解消が見込めるようになった②指定管理者

の指定の仕方や基準などが今回のモデル事業をもとに検討されていくことになる。やみくもにそういった事業所が出てくると低賃金労働が出ることも想定されるため、法律案では、県が事業所の認定を行うことになっている。そういった部分も含めて、モデル事業をやっていく中で課題を把握していくことになる。〔意見〕 この事業について

は、最低賃金以下の賃金で仕事をさせられることにならるのではないかと懸念する声も聞かれる。この制度をしっかりと浸透させていく一方、この制度の趣旨が社会全体にきちんと理解されるよう留意すべきである。〔審査結果〕 すべての議案について、原案を可決すべきものと決定。

号及び第83号議案については賛成多数で、その他の議案は全会一致で原案を可決すべきものと決定。



市民活動プラザ



経済産業

一般会計補正予算中、エスプラッツ活用推進事業について

〔説明〕現在、佐賀市観光協会が入居しているエスプラッツ2階の観光交流プラザをすぐ北側に移設し、新たに設置するための施設改修に要する経費である。

〔質問〕改修工事に伴い観光協会をいったん別の場所

に移す必要があるが、ほかのテナントも運営されている中、安全の確保などについてはどのように考えているのか。

〔答弁〕観光協会には同フロア西側のスペースにいったん移ってもらい、そこで執務をしていただきながら工事を進めていきたいと考えている。また、工事期間中は来館者が工事エリアに入らないよう十分に注意し

ながら工事をしていきたい。

〔質問〕観光協会は、同フロア西側のスペースにそのまま移設させたほうがよいのではないか。これまでの協議の中でそのような検討はなかったのか。

〔答弁〕観光協会と同じフロアの北側にある市民サービスセンターとは密接な関係にあり、パスポートの申請で同センターを訪れる利用者のうち、約3分の2の方が観光協会でパスポート申請に必要な写真や証紙を購入されている。このことを踏まえながら、現在、移設場所については協議を行っているところである。

〔答弁〕エスプラッツには6つの出入り口があるが、立体駐車場と繋がる出入り口を利用する方が一番多く、全体の約4分の1弱となっている。観光交流プラザは利用者も多く、イベント等をPRする場にもなっていることから、配置場所については利用者の動線も考えながら、観光協会と調整を図っていきたい。

賛成多数で、その他の議案は全会一致で可決すべきものと決定。



佐賀市観光協会

建設環境

佐賀市廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例、及び一般会計補正予算中、清掃工場中継施設整備事業2030万円について

〔質問〕川副町及び東与賀町の一般廃棄物処理手数料等が変更されるが、地元へ説明の予定は。

〔答弁〕10月初旬に自治会

常任委員会（決算以外の議案審査）

に対して説明を行い、分別方法と手数料の変更に関するチラシを全戸配布してもらう予定。その後、11月から各地区において地元説明会を実施したい。

〔質問〕川副・東与賀清掃センターを佐賀市清掃工場の中継施設として整備する

が、具体的な整備の中身は。

〔答弁〕現在、計量器が2階に設置されているが、これを1階に設置し、そこに

料金徴収などを行う事務所を整備する。また、施設内の舗装なども行う予定。



川副・東与賀清掃センター

一般会計補正予算中、バイオマス産業都市構想策定経費493万6000円について

〔質問〕以前、バイオマスタウン構想という事業があったが、バイオマス産業都市構想とどう異なるのか。

〔答弁〕バイオマスタウン構想は、バイオマスの活用

に重点を置いた市町村を基本単位とする取り組み。バイオマス産業都市構想は、

バイオマスを活用した産業創出と地域循環型エネルギーの強化に重点を置いた取り組み。具体的には、木質、下水汚泥など、バイオマスの原料生産から収集・運搬、製造・利用といった経済性が確保された一貫システムの構築を目指すものである。

〔質問〕専門家にアドバイスを求めるなど、佐賀市の取り組みが全国に誇れるよ

うな取り組みとなるよう、いろいろな視点から検討すべきでは。

〔答弁〕環境にやさしく災害に強いまちづくりの実現のため、できる限り多くの専門家の知恵を借りながら、地域に根ざしたバイオマス産業都市を目指したい。

〔審査結果〕第73号議案は賛成多数で、その他の議案は全会一致で原案を可決すべきものと決定。

総務

一般会計決算中、交通安全対策推進事務経費について

〔質問〕高齢者対象の交通安全教室等の実績が低い。高齢者の交通事故死が非常にふえているが、その予防策として十分と言えるのか。

〔答弁〕交通安全の教育指導について市と警察署で地区の老人クラブの方に委嘱を行い、積極的に地区の高齢者の方への交通安全指導をしていただいております。グラウンドゴルフ等の大会の開

催時を利用した取り組みも行って。また、死亡事故発生のために当該地区で、市、道路管理者、警察署、地元自治会等で現場検証をし再発防止に努めているが、さらに警察署と連携し、交通対策協議会等を通じて事故防止の積極的な呼びかけを行ってほしい。

〔質問〕ひなまつり期間中に実施したバスの運転手やボランティアアガイド、来場者等への聞き取り調査では、トイレや休憩所等が必要との意見があり、それらを考慮しながら整備を進めたい。

〔意見〕活用の検討に時間がかかり過ぎている。早急に取り組むべきである。

〔審査結果〕すべての議案について、認定すべきものと決定。

今後の具体的な活用についての検討状況は。

〔質問〕ひなまつり期間中に実施したバスの運転手やボランティアアガイド、来場者等への聞き取り調査では、トイレや休憩所等が必要との意見があり、それらを考慮しながら整備を進めたい。

〔意見〕活用の検討に時間がかかり過ぎている。早急に取り組むべきである。

〔審査結果〕すべての議案について、認定すべきものと決定。

文教福祉

一般会計決算中、住宅手当緊急特別措置事業2420万円について

〔質問〕住宅手当の受給期間に就労できなかった方たちへ、その後のフォローは行っているのか。

〔答弁〕相談があれば、就労支援員から必要な情報提供を行うが、全ての方の追跡調査は行っていない。

〔意見〕住宅手当の支給期間終了後は何も申請できない

と思っている方がいる。この制度は第2のセーフティネットと言われており、支給期間終了後のフォローを考えていく必要があるのではないかと。

〔質問〕事務事業評価等を受けて見直し、同和対策以外の取り組みを行うこととなったが、具体的にどういう取り組みをしたのか。

〔答弁〕人権啓発に関する講演会や学習会を開催するなど、さまざまな人権問題にも取り組んでいる。

り組んでいる。

〔質問〕特定の団体の運営費補助から事業費補助に転換すべきと指摘したが、この学習会や講演会は通常の運営の範疇で見直しはされていないと感じるがどうか。

〔答弁〕この事業は、差別に負けない力をつけることや、相談体制の充実等のための施策として整理した。事業の内容はこの施策の一環ととらえている。

〔審査結果〕すべての議案について、認定すべきものと決定。

常任委員会（決算審査）

経済産業

自動車運送事業会計決算中、旅客運送収益について

〔質問〕ワンコイン・シルバーパスの販売枚数が減った原因は。

〔答弁〕平成23年度に購入したがいあまり使わなかったため、平成24年度は購入しなかったという方が多かった。また、昭和バスのシルバーパスについても補助対象となっており、そちらを購入した方がふえたのが原因ではない

かと思われる。

同決算中、資本的支出、建設費について

〔質問〕バス停は何箇所あって、上屋は何箇所設置されているのか。

〔答弁〕バス停の総数は680箇所、そのうち上屋が設置可能なバス停が226箇所ある。そのうち約6割に当たる136箇所を上屋を設置している。

一般会計決算中、三瀬城跡情報発信事業について

〔質問〕具体的にどのような活動を行ったのか。

一般会計決算中、建築指導費の予備費充用43万円について

〔説明〕地元自治会の要望を受け、台風到来直前に空き家1棟について、部分撤去や窓ふさぎなどを実施。建物の所有者は既に亡くなられており、建築基準法による維持管理の指導もできなかったことから、民法上の事務管理規定を市が代行するという位置づけで実施。

〔質問〕少子高齢化や核家族化に伴い、同様の問題がふえると思われる。今後どういう考えで対応するのか。

〔答弁〕当然、所有者が対応するのが原則だが、市民に危険が及ぶことが危惧されるような場合に、所有者がいらない、あるいは指導をしても対処しないときには、市として何らかの対応をせざるを得ないと考えている。

なお、所有者がいる場合は、市が行った対応に要した費用を、所有者に対し請求することに。

〔審査結果〕すべての議案について、認定すべきものと決定。

水道事業会計決算中、太陽光発電設備設置経費7487万円について

〔質問〕費用対効果をどう算定しているのか。

〔答弁〕当初は、年間の電気料金削減額350万円を20年間使用と想定、約7000万円の削減効果があると見込んでいた。実際は当初予定の約1.2倍の発電量が見込まれるため、設置に要した経費は回収できると考えている。

〔審査結果〕すべての決算議案について、全会一致で認定すべきものと決定。

〔審査結果〕すべての議案について、認定すべきものと決定。

議案審議結果一覧

議案番号	議案名	審議結果	
決算	64 平成24年度一般会計歳入歳出決算	賛成多数で認定	
	65 平成24年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算		
	66 平成24年度国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算	全会一致で認定	
	67 平成24年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算		
	68 平成24年度自動車運送事業会計決算	全会一致で認定	
	69 平成24年度水道事業会計決算		
	70 平成24年度下水道事業会計決算		
	71 平成24年度工業用水道事業会計決算		
	72 平成24年度市立富士大和温泉病院事業会計決算		
補正予算	73 平成25年度一般会計補正予算（第3号）（同議案に対する修正案提出→否決） 補正額 25億4,300万円	賛成多数で可決	
	74 平成25年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 補正額 △1,560万円		
	75 平成25年度国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号） 補正額 250万円		
	76 平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 補正額 6,770万円		
	77 平成25年度自動車運送事業会計補正予算（第1号）	全会一致で可決	
	78 平成25年度水道事業会計補正予算（第1号）		
	79 平成25年度下水道事業会計補正予算（第1号）		
	80 平成25年度市立富士大和温泉病院事業会計補正予算（第1号）		
条例	※45 佐賀市自治基本条例（同議案に対する修正案提出→可決）	全会一致で修正可決	
	81 佐賀市産業支援プラザ条例	賛成多数で可決	
	82 佐賀市観光情報発信会館条例	全会一致で可決	
	83 佐賀市市民活動プラザ条例	賛成多数で可決	
	84 佐賀市廃棄物の減量推進及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例		
	85 佐賀市市税条例の一部を改正する条例	全会一致で可決	
	86 佐賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例		
	87 佐賀市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例		
	88 佐賀市健康運動センター条例の一部を改正する条例		
一般	89 新市建設計画の変更について	全会一致で可決	
	90 合併新市基本計画の変更について		
	91 市道路線の廃止について		下淵北線
	92 市道路線の認定について		下淵北線ほか3路線
	93 道崎団地建替（RC-1建築）工事請負契約の締結について		株式会社上滝建設
	94 道崎団地建替（RC-2建築）工事請負契約の締結について		谷口建設株式会社
	95 赤松小学校校舎耐震補強・大規模改造（建築）工事請負契約の締結について		谷口建設株式会社
	96 新栄小学校屋内運動場改築（建築）工事請負契約の締結について		株式会社上滝建設
	97 平成24年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		
議員提出議案	98 佐賀市議会委員会条例の一部を改正する条例		

※は6月定例会に提出され継続審査となっていた議案で8月26日に議決、その他は9月25日に議決。